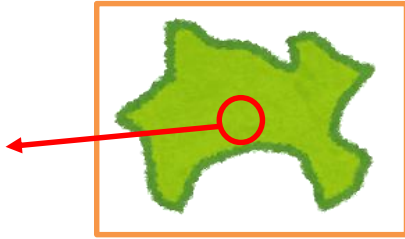


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28~29年度:計画作成主体:湘南地域農業再生協議会)(神奈川県)

取組の概要

- 対象品目 : 野菜苗(産地面積0.7ha)
 主な取組主体 : 有限会社五領ヶ台ガーデン、
 農業者36名
 成果目標 : 総販売額の10%以上の増加
 基準(H27年度) 54,700千円/10a
 目標(H30年度) 84,715千円/10a
 導入施設等 : 整備事業(育苗施設
 (出芽施設、緑化温室))

神奈川県
 平塚市
 金目地区



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

平塚市は、農家一戸あたりの経営耕地面積は少ないものの、県内では有数の水稲、酪農などの畜産業、施設野菜の産地として重要な役割を担っている。事業取組主体は、野菜苗の供給拠点として重要な役割を担っているが、近年野菜苗の需要が高まっており、十分に供給できない状況にある。本市での持続的な農業発展のために、緑化温室を導入することで安定的な苗供給を実現し、生産者の所得向上ならびに生産基盤の強化を目指す。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①高品質な野菜苗を生産するために必要な出芽施設(全天候型育苗庫)・緑化温室の導入

産地体制

(有)五領ヶ台ガーデン

育苗施設の整備

- ・全天候型育苗庫による徹底した栽培管理

実需者

需要に応じた
 安定供給

指導・助言

農業技術センター等

- ・栽培技術等の指導・助言

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・県、市、JAが連携して生産施設・設備の整備事業を推進している。
- ・市内で野菜苗生産量トップの経営体が市内農家に対し、苗の供給を行っている。

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①全天候型育苗庫の導入による徹底した栽培管理

【事業実施による間接効果】

- ①販売額増加により、担い手による作付面積が拡大。
- ②徹底した栽培管理により、高品質かつ安定的な野菜苗の供給を実現。
- ③大規模経営による雇用が創出され、販売額増加に伴い農業所得が向上。

総所得額が**54.9%**
 増加(目標13.3%)
 (達成率411%)

